

第6号

定価一年間300円
組合員の購読料は
組合費に含む



発行

檜山教職員組合

〒043-0056 江差町字陣屋町 86-1
Tel 0139(52)0858 FAX(52)1490
発行責任者 白山 尚
E-mail: hiyamakyoso@proof.ocn.ne.jp

65歳定年法成立

公務員の定年年齢引き上げのための国公法・地公法一部改正案が成立。24年度から段階的に引き上げ31年度に65歳定年が完成します。(表)

無年金状態を解消し、雇用と年金の確実な接続のためには必要なことですが、改定された内容は課題山積です。

制度が完成する31年度までは61歳以降の職員俸給月額が7割に引き下げられます。職務と責任に応じて支給される職務給原則(地公法24条)に反します。

また、31年度までに60歳前後の給与水準を連続的なものとなるよう検討するとされ、60歳以前の給与水準が大幅に引き下げられることが目論まれます。断じ

課題山積み

て容認できません。

多くの教職員が働き続けることに不安を感じているなか、高年齢の労働軽減など条件整備が急がれます。60歳以降の弾力的な働き方として「定年前再任用短時間制度」や「暫定再任用制度」が設けられましたが、給与の仕組みは現行再任用制度と同一内容とされます。現行の不備解消と合わせ、制度改善は急務です。定数法の枠内での任用となっており、再任用に係る独自の定数措置が求められます。

隔年で定年退職者が発生しない年度が生じることから、新採用が抑制されない対応も必要です。

今後の条例改正に向けた要求と交渉が重要となります。



教室風景=写真はイメージ

教員免許更新制は廃止を

前回は、受講予約申し込み希望がかなわず、2年越しの受講となりました。札幌での受講となり、島生活を身では、移動の時間が長く、2年とも前後泊しなればならず、他の方は、5日で受講できるところ、9日を要しました。住んでいる場所によって、こんなにも差があるので、こんなにも差があるのか？地方に住む教員のことも考えてほしいです。また、経験を活かした教育、指導ができるので、今さらテストで試されたくありません。免許更新制の廃止を希望します。

「本当に廃止して下さい。離島から講習を受講することが、どれだけ大変なことか、分かりますか?!」。教員免許更新制の廃止を求める要請書に寄せられた、檜山管内の現場教員の声です。囲みの文章もその一つです。切実な実態が鮮やかに浮き上がります。

文科省は5日、現場教員を対象に実施した調査結果を中教審小委員会に提出しました。

調査では、8割の教員が負担を感じていると回答。とくに負担感が大きいのは「講習時間」(84・

「これだけ大変が分かりますが」

7%)と「受講費用」(87・0%)でしたが、「受講予約」(70・5%)や「移動・宿泊等に要する時間」(57・8%)も重い負担となっていることが顕著です。囲みの訴えにあるように、勤務する場所によって大きな格差が生ずる仕組み自体が問題です。

調査では、55歳時の更新講習が中途退職の契機になるとの回答も4割弱に上りました。教員としての仕事を断念させる要因

にもなる制度は矛盾の極みです。更新制がすでに代替教員確保の障害になってきている実態が指摘されており、深刻です。

講習が教育現場に「役立っている」が33・4%に対し、「役立っていない」が37・8%と、研修効果の観点からも課題があります。

更新講習の総合的な満足度は、「不満」やや不満を合わせて58・5%で、「満足」やや満足」の合計19・1%を大きく上回ります。自由記述欄では、「制度を廃止すべき」「意義を感じない」とする意見が半数を超えました。

研修制度と一体化した検討が行われていますが、無条件の廃止はありません。現場の声を上げていきます。(裏面に関連)

2023年(令和5年)度から2年に1歳ずつ段階的に引き上げ												
定年年齢	60歳		61歳		62歳		63歳		64歳		65歳	
生まれ年	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
1961	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳						
1962		60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	斜字は「暫定再任用」				
1963			60	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳				
1964				60	61	62歳	63歳	64歳	65歳			
1965					60	61	62	63歳	64歳	65歳		
1966						60	61	62	63	64歳	65歳	
1967							60	61	62	63	64	65歳

*2024年度から、61歳から定年まで「定年前再任用短時間」制度が新設

2021年度檜山合同教育研究集会 & 2021年度檜山民主教育研究会夏の研究集会

オンライン



8月17日(火) 19:00~20:30

◇実践報告 『感染症の歴史調べから劇へ』
山根里美さん(上ノ国小学校)



コロナ禍の今だからこそ学びたい一着想したのは、その昔、上ノ国町でも猛威をふるったスペイン風邪。調査活動を皮切りに最終的には学習発表会で劇として子どもたちがを演じることとなった、その経緯と実践の振り返り、さらにはこれからの授業づくりにつなげていきたいものは何か、教科や領域を横断する壮大な授業実践について存分に語っていただきます。

◆参加申込み

檜山合同教育研究会をすすめる会事務局 内系俊男
e-mailアドレス: khf04543@nifty.com

◆申込み期日 8/10

※別途お届けの開催案内をご覧ください。

主催(共催) 檜山合同教育研究会をすすめる会・檜山民主教育研究会 TEL0139-52-0858



写真はイメージ

コロナ禍のもと「前倒し」で促進される「GIGAスクール構想」。「一人一台端末は令和の学びのスタンダード」と文科省が拍車をかけます。ICT活用をめぐる現場の実情や子どもの成長発達に照らした課題は…6月25日にオンラインで開催された檜山教組支部代表者会議でも話題になりました。議論の特徴点を紹介します。

成長発達と実態ふまえて

GIGAスクール

— 檜山教組支部代表者会議の議論から —

すでに檜山管内においても「一人一台端末」が配備されていますが、その取り扱いをめぐっては、町や学校の事情を受けて様々です。会議ではその実態が交流されました。端末機器の管理に関する実態が報告されました。環境や準備が整わないなかで、持ち帰らせることから生じるトラブルをどうのように防止するか、当座の学校での保管場所をどうするかなどで苦慮していると言います。「現状では不便の方が多い。そもそも現場のニーズから出発したわけではなく、一方的に導入されてくることでの不便さが際立つ」との発言がありました。専門担当者の配置や得意な人の有無によってとりくみに違いが生じていることが明らかにされました。全学年で端末操作の練習をしたり、実践的な研修を進める学校のとりにくみが紹介されました。一方で担当教員の負担が心配されるという意見もありました。実際の運用では、許可制のアプリ使用をめぐる工夫や、チャレンジテスト処理での活用をめぐる実態などが交流されました。ICT活用の授業の実際や研究授業のとりくみが報告され、子どもの発達ニーズや実態に応じた対応の大

教員免許更新制廃止要請署名

私のひとこと

日常の仕事の多忙さの中で、免許更新の受講や手続きの負担はかなりのものがあります。自動車の免許とは質が異なります。他の資格者の更新はないでしょう。即刻廃止を求めます。

現在の制度は教員ひとり一人の自主的な研修意欲を抑えて、教員をいわゆる先生ではなく、指導員にしています。教員って何ですか？

本日に廃止して下さい。離島から講習を受講することが、どれだけ大変なことか、分かりますか？！



前号に続き、教員免許更新制廃止の要請署名に寄せられた声を紹介いたします。

必要ないと思います。

前回は、受講予約申し込み希望がかなわず、2年越しの受講となりました。札幌での受講となり、島生活をする身では、移動の時間が長く、2年とも前後泊しなければならず、他の方は、5日で受講できるところ、9日を要しました。住んでいる場所によって、こんなにも差があるので、わかっていますか？地方に住む教員のことも考えてほしいです。また、経験を活かした教育、指導ができるので、今さらテストで試されたくありません。免許更新制の廃止を希望します。

教員の未配置がいっそう広がる予感があるので、免許更新制を廃止してください。

普段の、通常の業務を圧迫するものであり、教員免許更新制は廃止すべきである。更新にかかる受講料や旅費も高額である。関連する企業に対する利益誘導である。

教員免許更新講習は自主的な研修とちがいで、研修内容が指定されているのに自費で受けるのは納得がいきません。まして、郡部は都市部とちがいで、交通費、宿泊費もかなり大変です。

学生時代、時間も学費もかけ取得した資格。要請書にあるような多くの問題を抱える更新制、それを逸すれば身分を喪失してしまうのは、かなりの負担です。私は2回更新しました。ただちに廃止することを求めます。

多くの業務がある中で、受講するのは厳しい状況です。

多忙化の中、負担の多い教員免許更新は廃止を！

現在勤務している学校も臨時教員がなかなか見つからなかった事がありました。学習支援員もそうです。免許更新制廃止を強く求めます。

教員として必要な資質能力を向上させるための研修は、日々行っていますので、教員免許更新制は必要ないのでないでしょうか。廃止のご検討をよろしくお願ひします。

うれしいとき、かなしいときにあなたを応援します。

総合共済

月々 600円

さらに退職時には 掛金が全額戻ります!

- 結婚祝金に10,000円
- 出産祝金で5,000円
- 災害見舞金に10万円(全壊)など 他にもいろいろ

ご協力ありがとうございました。

なかなか教員のなり手が少なく、減少し、病休、産休で代替えの期限付き教員が見つからない時代となつてしまいました。「あの先生はどうだろう」と素敵なOB、OGの教員にお願いしても、免許更新の関係で頼めないという事例が山ほど生まれています。現場に混乱まできた教員免許更新制を一刻も早く廃止して下さい。

お金と時間の無駄。私は日々研修しています。

非常に多忙な教員。免許更新は多忙化に輪をかけています。また、教員不足、非常勤教員不足なども更新制が一つの理由になっていきます。廃止を強く強く求めます!!

教員免許更新制は教員に多大な負担を強いるものであり、日々の研修があるにも関わらず、更新講習の意義も見いだせず徒労感だけです。即廃止です。

切さが強調されました。「デジタルとアナログの活用の区分けが大事、実際場面を通じて子どもたちについていねいに教えていく必要がある」として、無批判にICT活用することへの警鐘が鳴らされました。仮想体験と現実体験の調和の観点からも重要な指摘となりました。

機器の保護に必要な経費や故障・破損した際の措置についても交流。経費の一部が学校予算で賄われ圧迫しているとの報告がありました。十分な財政保障が求められます。「新しく運用されたばかりで実践途上での問題も。過渡期の大変ななかを智慧を出し合つて」という発言が議論をまとめてくれました。

「*次号から「GIGAスクール」について連載で特集します。ご意見をお寄せください。」